

キヤノンが「第20回アジア競技大会」に協賛

キヤノンは、2026年9月19日から10月4日まで愛知・名古屋で開催される「第20回アジア競技大会」に協賛します。



第20回アジア競技大会ロゴ



決定的瞬間を狙うフォトグラファー

このたびキヤノンは、「第20回アジア競技大会」への協賛に関し、大会を主催するアジア・オリンピック評議会（Olympic Council of Asia）ならびに公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会（以下、組織委員会）とパートナーシップ基本合意書を締結しました。

アジア競技大会は、1951年から約4年に一度開催されている国際総合競技大会です。32年ぶり3度目の日本での開催となる「第20回アジア競技大会」は、45の国と地域から約1万人以上の選手が参加し、41競技が行われる予定です。キヤノンは、第18回大会、第19回大会に続いて、3大会連続で協賛します。

キヤノンは、決定的瞬間を捉え多くの人々に伝える報道・スポーツの現場を長年にわたり支えてきました。プロユーザーの世界において、カメラメーカーには、最高クラスの性能と信頼性を備えた機材に加え、きめ細やかなサービスやサポートの提供などの総合力が求められています。

キヤノンでは、これまでも国内外のさまざまなスポーツイベントにおいて、カメラ・レンズのメンテナンスや技術サポートを行ってきました。本大会においても、機材のトラブルなどにより決定的瞬間を逃さないよう、プロユーザーの業務を止めない「ゼロ・ダウンタイム」を提供すべく、カメラのサービスセンターを会場内に設置し、各国・地域から参加するプロユーザーを支援します。さらに、映像表現の可能性を広げる3D映像技術を通じて、スポーツの感動をよりリアルに、より臨場感あふれる形で伝えることにも取り組んでいます。

また、カメラ・レンズや放送機器、ネットワークカメラに加えて、複写機、複合機、医療機器など、幅広い協賛カテゴリーを獲得し、製品やソリューションの提供を通じて大会運営を全力でサポートします。

キヤノンは、写真と映像の世界をリードしてきたイメージング技術を活用し、スポーツが生み出す情熱や感動を世界中に届け、共有することに貢献していきます。